

SKYMENU 活用授業 実践レポート

お名前	木寺健司	学校名	大阪市立長原小学校
実施学年	4年	教科	総合的な学習(プログラミング)
単元名	探究活動～プログラミング学習を通して～		

《学びを深めたいポイント》

本実践では、自ら選択し、学んでいく探究活動の一環として長原タイムの個人探究の活動を進めていく。この活動では、自分自身で学んでいく内容を選択して、その活動内容に向けて、「どのような材料が必要なのか」や「どのような方法で進めていくことがいいのか」などの情報を収集・整理・分析して、最終的には SKYMENU Cloud の発表ノートにまとめていく。このような活動の中で、より主体的に ICT 機器を活用して、探究活動を行っていくためにもプログラミング学習を取り入れていく。

はじめに、自分たちの身近にあるものはいろいろなプログラムで動いていることを知り、その中で、プログラミングの学習活動を意欲的に行うことができるようにしていく。また、最終的な探究活動につなげていくために、フローチャート図などを使い、どのような場面で ICT 機器やプログラミングを使っていくことができるのかを考えていく。次に、コーディーロッキーのプログラミングロボットを実際に用いて、画面表示や音、機器の動作方法、センサーを用いた動かし方などを学んでいく。そして、事前に複数のコースを設定し、学んだことを活かして、それらのコースをプログラム通りに動かせることができるようにする。この活動では、数値やプログラムをグループで考えて、目的地まで到達しようとする中で、グループで協力することで達成できる喜びを感じることもやうまくいわずにグループで相談して試行錯誤する中で、意見を伝え合う機会が生まれ、協働的な学習にもつながることができる。この中ではスカイメニュークラウドの発表ノートや気づきメモのアプリを使用して、児童がより協働的な学びにつながるようにしていく。最後に、これまで学んできたことをもとに、自分自身の探究活動に ICT 機器やプログラミングを取り入れ、実践していくことができるようにしていく。その際、はじめにフローチャート図でまとめたものを参考にして、より具体的に ICT 機器を使い活動していくことができるようにしていく。

《SKYMENU 活用のポイント》

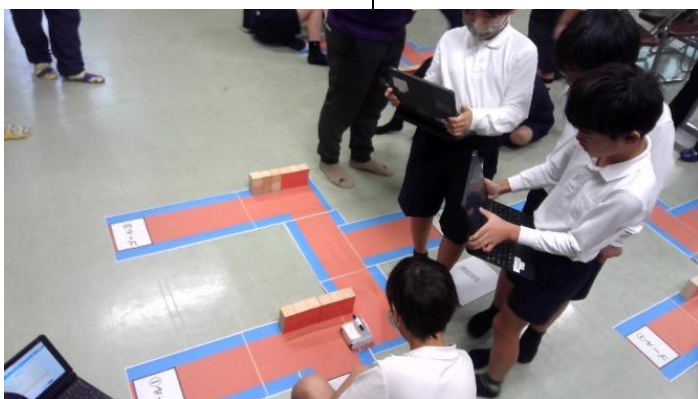
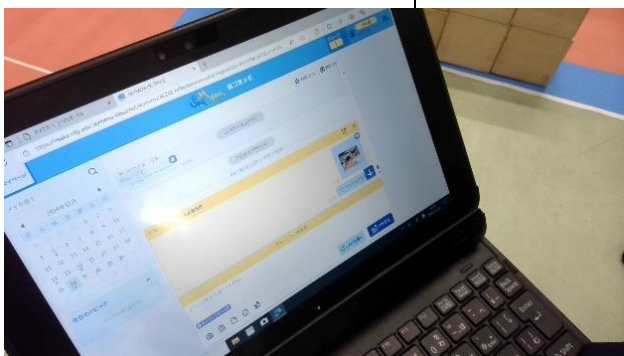
今回の実践では、SKYMENU Cloud の発表ノートや気づきメモを活用した。


発表ノートは、自分自身の考えをまとめるときに使用した。チャート図を発表ノートに張り付けて、いろいろな考え方を書き出す手段として活用した。

気づきメモはプログラムを組む際に活用した。この気づきメモでは、文章だけではなく、画像や動画もアップロードできることから、実際に組んでみたプログラムの写真をアップロードしたり、実際にプログラミングロボットが動いている動画をアップロードしたりすることで、グループの活動で終わるのではなく、クラス全体で共有することができた。また、プログラミングを組んでいく際、行き詰ったグループでも、すぐに他者参照できる環境があることで、児童は、より意欲をもって活動に取り組むことができた。

《実践内容》

	学習活動	SKYMENU 活用場面	活用のポイント
導 入	○今まで使用してきたプログラムを思い出す。	○今まで蓄積してきたメモの中から本時につながる内容をピックアップして全体で共有する。	○全体で共有することで今までの内容がより理解できる。
展 開	○複数のコースから一つを選び、そのコースのプログラムを組んでいく。 ○目的地まで到着したグループは、次のコースを選んで、プログラムを組んでいく。	○できたプログラムは、コースごとの気づきメモにアップロードする。	○気づきメモを使用することで各グループの自由なタイミングで他者参照することができる。 ○できたプログラムを動画や画像で気づきメモにアップロードすることにより、他のグループに見てもらえることを意識して、意欲の向上にもつながる。
	○他のグループの様子を見に行く。	○実際に他のグループを見に行くときにもタブレットを使用し、その様子を気づきメモに記録しておく。	○記録しておくことで、それぞれのグループの視点を変えながら記録を蓄積していくことができる。 ○見が終わった際に、記録が蓄積しているので、参照しやすくなる。 ○記録する意識を持たせることで、どのような視点を持って様子を見に行けばいいのかの意識づけになる。



<p>ま と め</p>	<p>○振り返りを行う</p>	<p>○振り返りの際にも気づきメモの動画を活用することで、実際の場面を見せることができる。</p>	<p>○実際の場面を見ていくことで、どんな視点でプログラムを組んでいくか、また、プログラムを組む過程もより詳しく見ることができ、深い学びにつながっていく。</p>
			

《実践を振り返って》

今回の実践では、グループの中で2台のタブレットを使い、プログラム+気づきメモで活動を行っていった。児童は初めて気づきメモを使用したがるが、動画や画像のメモの有用性に気づくことができた。また、他者参照がいつでも自由に行えることから、グループの中でプログラムに行き詰ったときにも他者参照することで、解決の糸口が見つかり、学習がスムーズに進んでいくことができた。また、自分たちが成功したプログラムを画像や動画でアップロードすることにより、他の児童に見てもらえる意識が生まれ、より意欲的に活動していく児童が多くいた。これらのことから、この気づきメモを使用していくと、より協働的な学びにつながっていった。

一方でまだまだ慣れていない部分もあり、「よかった」「いいね」などのコメントをメモするだけの児童もいて、今後、「どこがよかったのか」や「どんなところがいいのか」などをメモできるように指導していく必要があると感じた。さらに使い方に関しては、情報を発信していくという点で、SNSの使い方など情報モラル的な指導も含めて実践していくことが効果的に学習を進めていくことも可能だと感じた。